

### [問題点]

公職選挙法を無視して勝ち取ったその議席を見せびらかす姿。

勝ちさえすれば、大勢側に付きさえすれば、何でも許されると言う姿勢。弱いものは黙れ、力無きものに正義無し、弱者は黙れ。

これは、6年前、自分から桜井誠を大阪に呼びつけながら、開口一番「何しに来た」と喧嘩を吹っかけ、あげく「政治家になってから言え」と、追い返そうとした橋下元市長とも共通する愚劣な言葉。山本太郎とその支持者。この集会の根底にある新自由主義思想が馬脚を現した瞬間である。

### 山本太郎代表の発言（4）

「何の話ですか？ ごめんなさい、あのね、あのね。もうちょっと質のいいスピーカーに変えた方がいいですよ」

「スピ、あのね。少なくとももうちょっと聴こえのいい、音質のいいスピーカーに変えないと、みんな話聞いてくれませんか？」

### [問題点]

これらの発言も同じく新自由主義思想に基づいている。山本代表の考えによると、良い音響設備を用意できないような貧乏人は発言するなとなるわけである。

さらに『良い機材を使わない人間の話は誰も話を聞かない』という指図についても、一部にはそういった現実があるかもしれない。しかしそれを山本自身が肯定し主張するようになれば、もはや彼も強者至上主義の一員である。

### 山本太郎代表の発言（5）

「どっから金流れてんだよあんたたちにい」

### [問題点]

れいわ支持者があとから騒いでいる通り、この発言をする事によって

「自民党などネオリベリズム勢力が日本第一党(右翼団体)を喉けた」

という構図を印象付けるためのパフォーマンスであろう。そんな暇があったら、自身の金の流れを説明せよ。